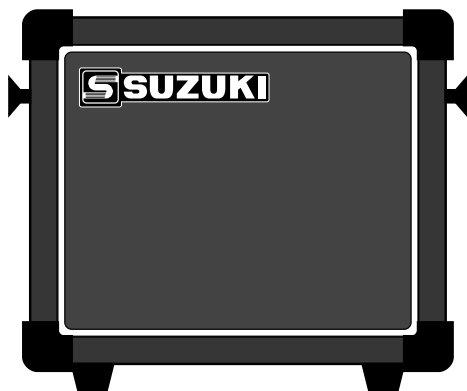




# 多目的アンプ SPA-03



## 取扱説明書

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった取扱説明書は、大切に保管してください。

## 目次




安全上のご注意 .....	2
はじめに.....	3
各部の名称と機能.....	4
トップ・パネル .....	4
リア・パネル .....	5
電池の入れかた .....	6
オート・パワー・オフ機能.....	6
大正琴で使う .....	7
接続方法.....	7
基本操作.....	7
アンプ機能、音質、音量.....	8
マイクで話す .....	8
残響・効果 .....	9
チューナー .....	9
ハーモニカで使う .....	10
接続方法.....	10
アンプ機能、音質、音量.....	10
残響・効果 .....	11
ハウリングにご注意.....	11
メロディオンで使う.....	12
接続方法 (PRO-44/B-24H/S-27H) .....	12
接続方法 (マイクロホン) .....	12
アンプ機能、音質、音量.....	13
残響・効果 .....	13
故障とお思になる前に .....	14
仕様 .....	15
保証規定.....	16
—保証書— .....	16

# 安全上のご注意

## ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには  
図記号の例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意事項が描かれることがあります。左の図は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

## 警告

この注意事項を無視した取り扱いを行うと、死亡や重傷を負う可能性があります。

- ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

- 本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
  - ACアダプターが破損したとき
  - 異物が内部に入ったとき
  - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、お買い上げ店または最寄りの鈴木楽器販売へ依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものをのせない。  
コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。  
大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。



- ほこりの多い場所で使用や保管はしない。
- 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
- 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。  
本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。



- 濡れた手で本製品を使用しない。
- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない。  
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

## 注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります。



- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。  
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 本製品をテレビ等の横に設置すると、本製品の磁場によってテレビ等の故障の原因になることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。

- ・ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ず箱部を持つ。
- ・長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- ・電池は幼児の手の届かないところへ保管する。
- ・長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜く。



- ・付属のACアダプターは、他の電気機器で使用しない。  
付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしていない。  
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- ・電池を過度の熱源(日光・火など)にさらさない。
- ・スイッチやつまみなどに必要以上の力を加えない。  
故障の原因になります。
- ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- ・不安定な場所に置かない。  
本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。  
本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- ・本製品の隙間に指などを入れない。  
お客様がけがをしたり、本製品が損傷する恐れがあります。
- ・地震時は本製品に近づかない。
- ・本製品に前後方向から無理な力を加えない。  
本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

※すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

## はじめに

### SPA-03 とは？

本機は大正琴、ハーモニカそしてメロディオンの直接接続／マイク収音に対応し、音色を加工できる残響・効果を内蔵、更にミュージックプレイヤーの接続も可能な、個人練習やストリート・パフォーマンスに最適な多目的アンプです。

### 入力ジャック

本機には2つの入力ジャック、[楽器入力]、[外部マイク入力]があります。

外部出力がある楽器は[楽器入力]ジャックへ接続します。

(外部出力がない)生楽器は、マイクロホンで収音し[外部マイク入力]ジャックへ接続します。

### アンプ機能

楽器や接続方法に合った機能が簡単に得られる、[アンプ機能]スイッチを装備しました。

### 残響・効果

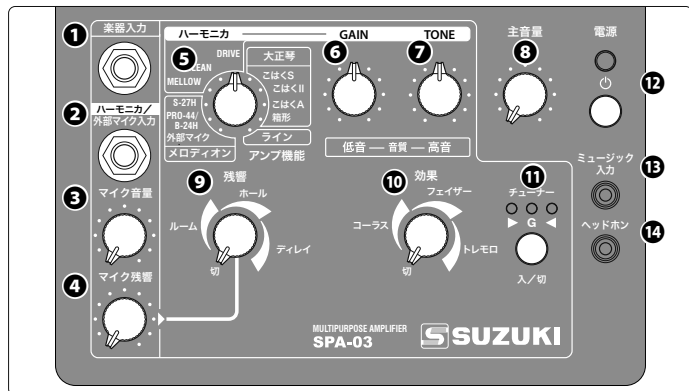
楽器の音色を様々に加工できる、各種残響・効果を搭載しました。

### 二電源方式

単3型アルカリ乾電池6本、またはACアダプターで動作するので、場所を選ばない演奏が可能です。

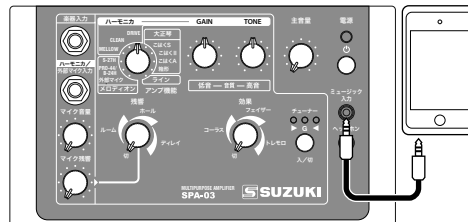
# 各部の名称と機能

## トップ・パネル



- ① 楽器入力ジャック  
外部出力ジャックのある楽器を接続します。
- ② ハーモニカ/外部マイク入力ジャック  
マイクrohンを接続します。
- ③ マイク音量つまみ  
マイクrohンの音量を調節します。
- ④ マイク残響つまみ  
マイクrohンの残響量を調節します。
- ⑤ アンプ機能つまみ  
接続する機器にあわせて、アンプの機能を選びます。  
各楽器に特化した「大正琴」「ハーモニカ」「メロディオン」のほか、平坦な特性の「ライン」が選べます。

- ⑥ 低音 / GAIN つまみ  
低音を、ハーモニカでは歪みを調節します。
- ⑦ 高音 / TONE つまみ  
高音を、ハーモニカでは音質を調節します。
- ⑧ 主音量つまみ  
楽器入力とマイクrohンの音量を総合的に調節します。
- ⑨ 残響つまみ  
残響の種類と深さを設定します。左に回しきると、残響は無くなります。
- ⑩ 効果つまみ  
効果の種類と深さ/速さを設定します。左に回しきると、効果は無くなります。
- ⑪ チューナーボタン  
大正琴用のチューナー機能を入/切します。
- ⑫ 電源ボタン  
長押しして電源を入/切します。動作中はランプが点灯します。
- ⑬ ミュージック入力ジャック



曲に合わせて演奏するための、ミュージックプレイヤー等オーディオ機器を接続します。  
音量調節はオーディオ機器側で行います。

## 14 ヘッドホンジャック



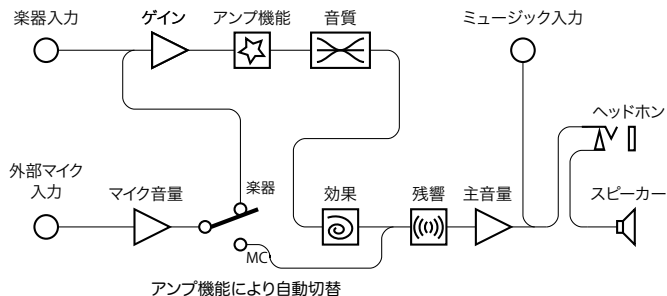
ミキサーやレコーディング機器等へ直接出力するときや、ヘッドホンを使用する場合にこのジャックに接続します。

このジャックからは内蔵スピーカー同様、トップ・パネルすべてを経過した音声が出力されます。

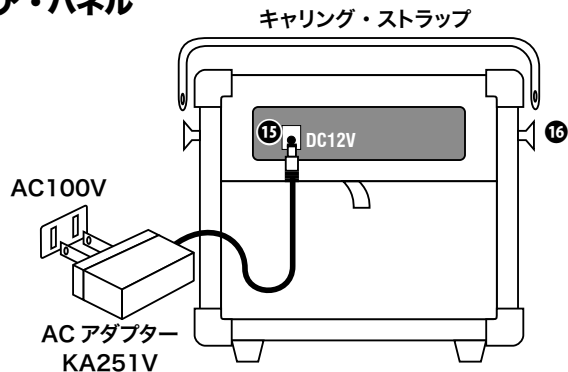
**NOTE:** このジャックに接続すると、内蔵スピーカーから音は出ません。

**NOTE:** ヘッドホンジャックは必ずステレオで接続してください。

## ブロック・ダイアグラム



## リア・パネル



## 15 DC12V ジャック

付属のACアダプター(KA251V)を接続します。

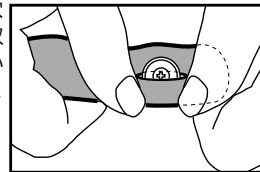
**NOTE:** ACアダプターは本機専用です。他の機器で使用すると、故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

室内など交流電源のある場所では、乾電池の代わりにACアダプターを使用すると、電池の消耗を気にせずご使用できます。

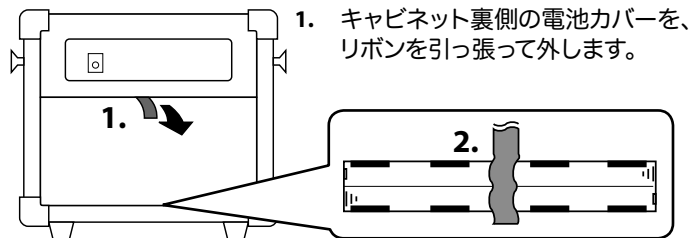
## 16 ストラップ・ピン

付属のキャリング・ストラップを取り付けます。

**NOTE:** 脱落防止のため、ストラップの穴は小さめに設定されています。取り付けの際は指に怪我をしないよう、図のように両手で行ってください。



## 電池の入れかた



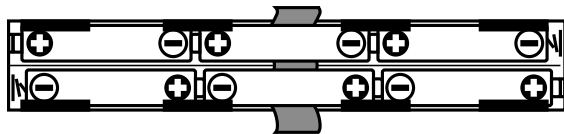
1. キャビネット裏側の電池カバーを、リボンを引っ張って外します。

1.

2.

2. キャビネット底部のリボンを、電池ホルダーに敷きます。

3.



3. 単3型アルカリ乾電池6本を、図に従って電池の向きを間違えないように入れます。

**NOTE:** 電池は付属していません。別途お買い求めください。必ずアルカリ乾電池をご使用ください。

### 電池の交換時期

電源ランプが暗くなったら、電池を交換してください。

**NOTE:** 電池容量が少なくなると、音量が小さい、雑音が出る等の現象が現れます。

**NOTE:** 使えなくなった電池は、すぐに取り出してください。そのままにしておくと、電池の液漏れ等故障の原因になります。

## オート・パワー・オフ機能

本機にはオート・パワー・オフ機能が搭載されています。

オート・パワー・オフ機能は、操作しない状態と入力がない状態が約1時間続くと、自動的に電源が切れる機能です。

電源が切れると、つまみやボタンを操作しても復帰しません。電源を入れ直してください。

**NOTE:** [ミュージック入力]ジャックのみへの入力時や、[楽器入力]ジャックと[ハーモニカ/外部マイク入力]ジャックへの入力音が極端に小さい場合は、オート・パワー・オフ機能が動作します。

**NOTE:** 工場出荷時、オート・パワー・オフ機能は有効に設定されています。

### オート・パワー・オフ機能の有効/無効を設定する

1. [チューナー]ボタンを押しながら、[電源]ボタンを1秒間押し続けて電源を入れます。

有効



2. [チューナー]ランプに現在の設定が表示されます(右図)。

3. [チューナー]ボタンを押すと有効/無効が切り替わります。

無効



4. 数秒間操作しないで待ちます。自動的に通常の動作に移ります。

**NOTE:** オート・パワー・オフ機能の有効/無効の設定は、電源を切っても保存されます。

**NOTE:** 電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜き、電池を取り外してください。

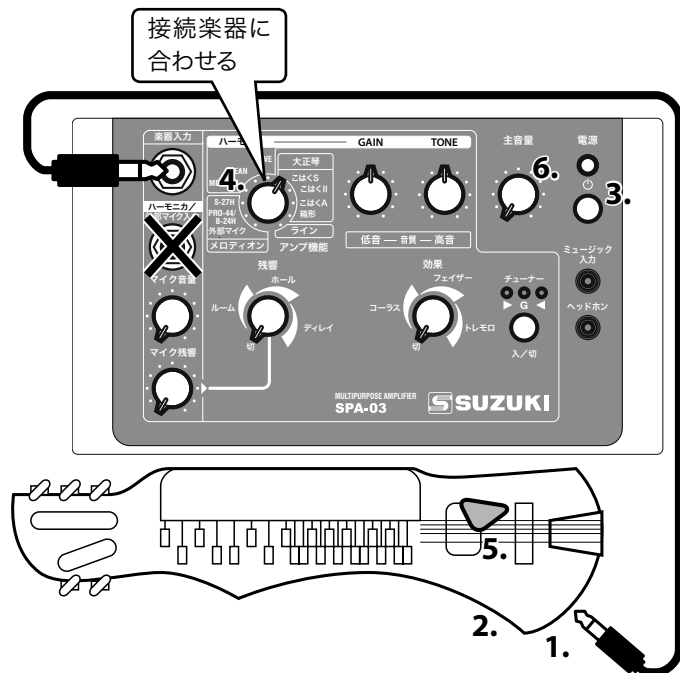
# 大正琴で使う

## 接続方法

### 使用準備

本機の電源が切れていることを確認し、大正琴の[外部出力]ジャックと本機の[楽器入力]ジャックとを接続コードで接続します。

NOTE: 本機は複数台の大正琴の接続には適しておりません。  
トップ・パネルの各つまみを、左図のように設定します。



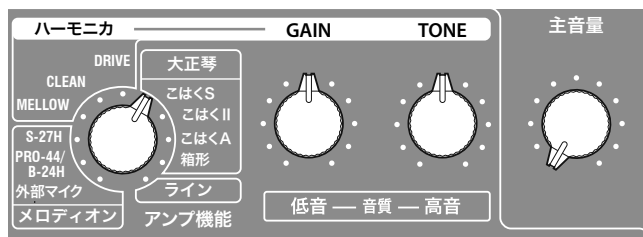
## 基本操作

1. 大正琴に[電源]スイッチがある場合は入れ、
2. 大正琴の[音量]つまみを上げておきます。
3. 本機の[電源]ボタンを1秒間押します。電源が入り、ランプが点灯します。
4. [アンプ機能]つまみを接続された大正琴に合わせます。
5. 絃を弾きながら、
6. 本機の[主音量]つまみをゆっくりと上げ、聞きやすい位置に合わせます。

## 使用後

ご使用後は本機の[電源]ボタンを1秒間押し、電源を切ります。  
続いて大正琴の[電源]スイッチを切り、接続コードを外します。

## アンプ機能、音質、音量



### アンプ機能つまみ

接続された大正琴の種類に、[アンプ機能]つまみを合わせます。  
最適な感度/音質が設定されます。

- こはくS: こはくソプラノ  
こはくII: こはくタイプII  
こはくA: こはくアルト  
箱形: 桂、弁慶、悠弓、紅葉、ゆり等  
ライン: 拍調、和楽等

表記のない楽器を接続する場合は、上記のいずれかで歪みが無く音量が十分に得られる位置に合わせます。

### 低音/高音つまみ

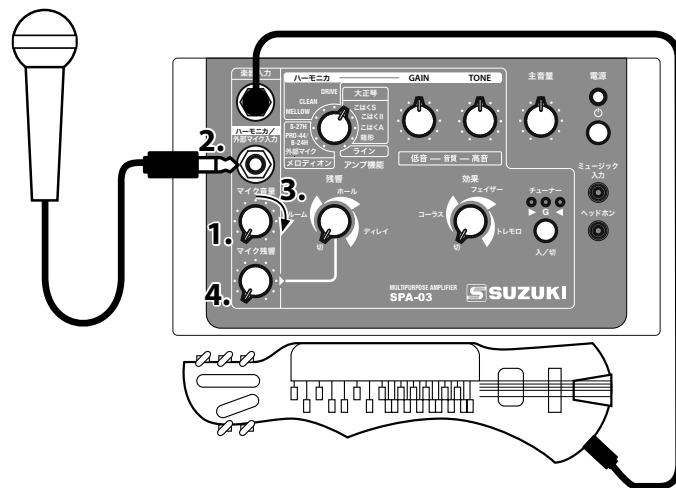
低音の強さ、高音の強さをそれぞれ調節します。

### 主音量つまみ

音量を調節します。大正琴の[音量]つまみと併せ、聞きやすい音量になるよう調節してください。

## マイクで話す

マイクロホンを使って曲解説や歌声を拡声できます。

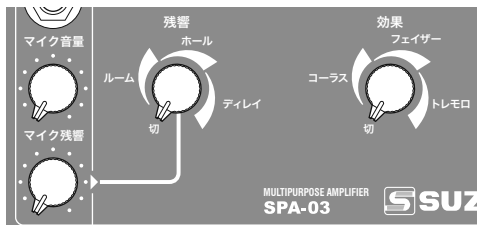


1. [マイク音量]つまみを最小にします。
2. マイクロホンを[外部マイク入力]ジャックに接続します。
3. マイクロホンに向かって話しながら、[マイク音量]つまみを適度な位置までゆっくりと上げます。
4. 残響(後述)が必要な場合は、[マイク残響]つまみを好みの位置に設定します。




## 残響・効果

音に残響や各種効果を加え、演奏表現の幅を広げます。




### 残響つまみ

残響の選択と、マーク位置で深さの調整を行います。

- ルーム: 会議室や教室といった、小さな部屋のような残響です。
- ホール: コンサート・ホールのような、余韻の長い残響です。
- ディレイ: やまびこのように、音が遅れて何度か鳴る効果です。

### 効果つまみ

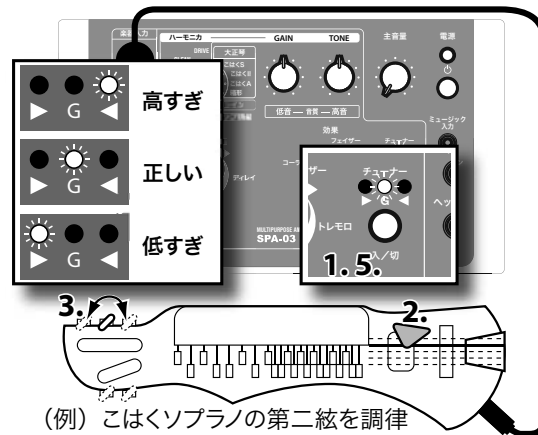
効果の選択と、マーク位置で速さの調整を行います。

- コーラス: 音に豊かな広がりを与える効果です。
- フェイザー: 音に爽やかな変調感を加える効果です。
- トレモロ: 周期的に音に強弱をつける効果です。

一般的に、[残響]は短い音符が多い曲に、[効果]は長い音符が多い曲にそれぞれ効果的です。

## チューナー

大正琴の解放音(G)を簡易的に調律できます。



(例) これはソプラノの第二弦を調律

1. [チューナー]ボタンを押して、ランプを「○●○」両端点灯にします。
2. 弦を1本だけ弾きます(複数弦の同時測定はできません)。
3. ランプが「●○●」中央点灯になるよう、弾いた弦の弦巻を回して調律します。音が消えてしまった場合は、もう一度弦を弾きます。
4. 次の弦も2.3.の手順で調律します。
5. 再び[チューナー]ボタンを押して、チューナー機能を終了します。

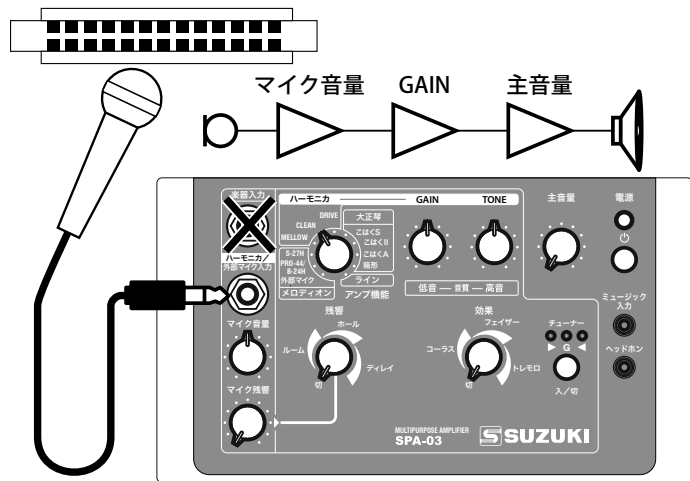
# ハーモニカで使う

## 接続方法

### 使用準備

本機の電源が切れていることを確認し、マイクロホンと[ハーモニカ/外部マイク入力]ジャックとを接続コードで接続します。

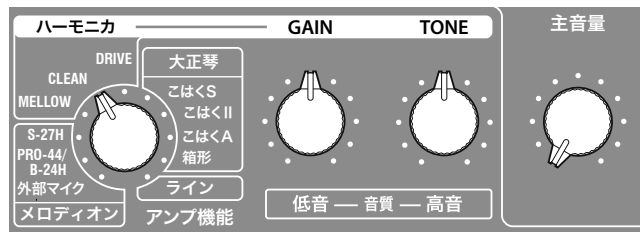
NOTE: [楽器入力]ジャックは使用しません。



トップ・パネルの各つまみを上図のように設定します。[マイク音量]つまみは、マイクロホンがダイナミック型の場合は中央よりやや高めに、コンデンサー型の場合は低めを目安として設定します。

電源を入れ、マイクロホンに向かって楽器の音を鳴らしながら、必要な音量になるよう[主音量]つまみをゆっくりと上げます。

## アンプ機能、音質、音量



### アンプ機能つまみ

プレイスタイルに応じ、アンプの特性を設定します。

**MELLOW:** 高音がカットされ、歪みが少ないムード的なアンプ

**CLEAN:** ポップスや叙情歌向きの、歪みが少ないアンプ

**DRIVE:** ロックやブルース向きの、激しく歪むアンプ

### ゲインつまみ

アンプへの入力レベルを調整します。右に回していくと、歪んだ音が得られます。

### TONEつまみ

音質を調節します。中央で平坦、左に回すと低音が強調され、右に回すと高音が強調されます。

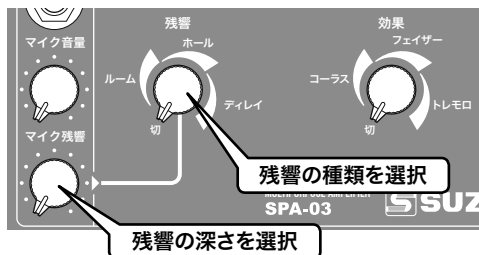
### 主音量つまみ

楽器の最終的な音量を調節します。

楽器の音量は、[マイク音量] - [GAIN] - [主音量]という3つのつまみを經由していることに注意してください。


## 残響・効果

音に残響や各種効果を加え、演奏表現の幅を広げます。




### 残響つまみ

残響の種類を選択します。

残響の深さは、[マイク残響]つまみを使用して調整します。[残響]つまみの  マーク位置には影響されません。

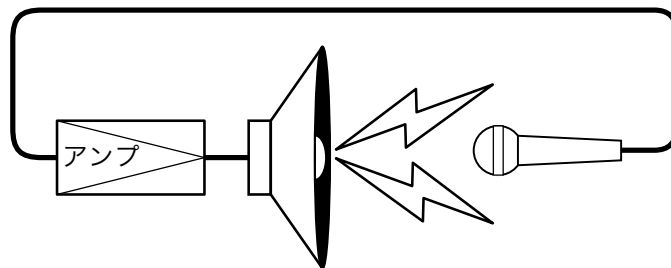
- ルーム: 会議室や教室といった、小さな部屋のような残響です。
- ホール: コンサート・ホールのような、余韻の長い残響です。
- ディレイ: やまびこのように、音が遅れて何度か鳴る効果です。

### 効果つまみ

効果の選択と、 マーク位置で速さの調整を行います。

- コーラス: 音に豊かな広がりを与える効果です。
- フェイザー: 音に爽やかな変調感を加える効果です。
- トレモロ: 周期的に音に強弱をつける効果です。

## ハウリングにご注意



音を激しく歪ませたり、音量が大きい場合など、スピーカーから出た音がマイクロホンに入ると「ピー」というハウリングを生じます。

このような場合、スピーカーとマイクロホンが向き合わないよう位置を調整したり、残響・効果や歪みを控えめにしたりすることで改善されます。

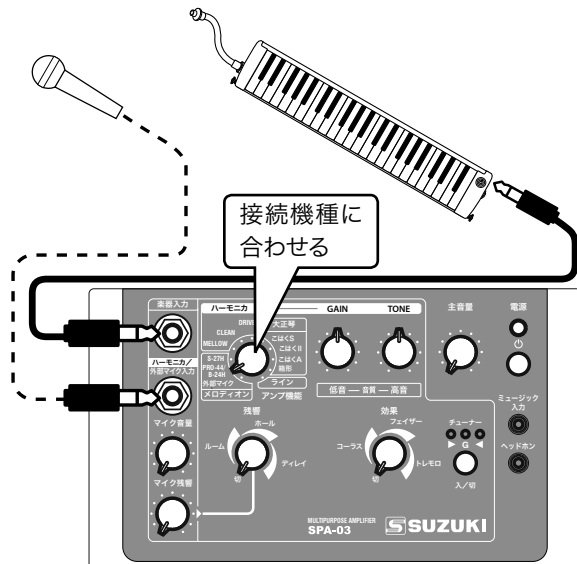
どうしてもハウリングが解消されない場合には、[主音量]つまみを下げます。

# メロディオンで使う

## 接続方法 (PRO-44/B-24H/S-27H)

本機の電源が切れていることを確認し、メロディオンの出力ジャックと[楽器入力]ジャックとを接続コードで接続します。

NOTE: [ハーモニカ/外部マイク入力]ジャックは使用しません。



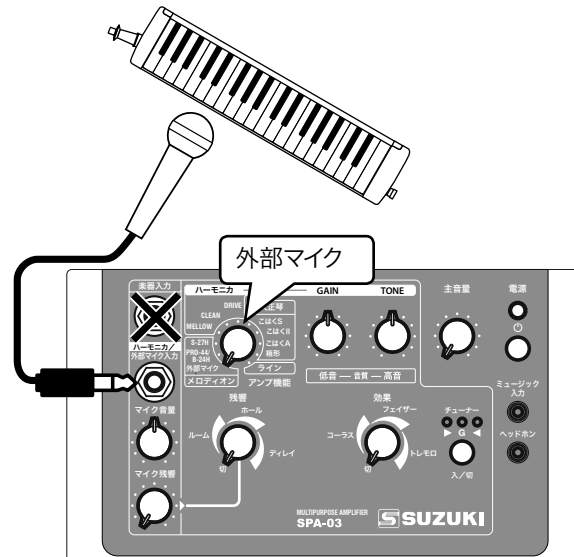
トップ・パネルの各つまみを上図のように設定し、電源を入れ、楽器の音を鳴らしながら、必要な音量になるよう[主音量]つまみをゆっくりと上げます。

TIPS: [外部マイク入力]ジャックにマイクロホンを接続すると、楽器の音とは別にお喋りを拡声できます。

## 接続方法 (マイクロホン)

本機の電源が切れていることを確認し、マイクロホンと[ハーモニカ/外部マイク入力]ジャックとを接続コードで接続します。

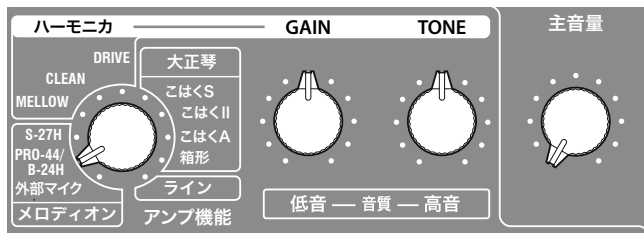
NOTE: [楽器入力]ジャックは使用しません。



トップ・パネルの各つまみを上図のように設定し、電源を入れ、マイクロホンに向かって楽器の音を鳴らしながら、必要な音量になるよう[主音量]つまみをゆっくりと上げます。

[主音量]つまみを上げても音量が足りない、音量が小さいのに不必要に歪んでしまうといった場合は、[マイク音量]つまみを使って歪まずに十分な音量が得られるよう調整します。

## アンプ機能、音質、音量



### アンプ機能つまみ

接続された楽器／機器の種類に、[アンプ機能]つまみを合わせます。最適な感度／音質が設定されます。

**S-27H:** 不要な低音域を抑えた、ソプラノ専用のアンプ

**PRO-44/B-24H:**

低音から高音まで広範囲に再生するアンプ

**外部マイク:** 楽器音を外部マイクで収録する

### 低音／高音つまみ

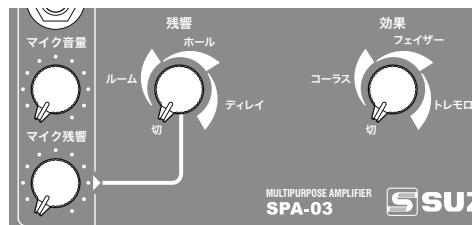
低音の強さ、高音の強さをそれぞれ調節します。

### 主音量つまみ

楽器の最終的な音量を調節します。楽器の音量つまみ、[マイク音量]つまみと併せ、聞きやすい音量になるよう調節してください。

## 残響・効果

音に残響や各種効果を加え、演奏表現の幅を広げます。



### 残響つまみ

残響の選択と、深さの調整を行います。

マイクロホンを接続している場合、その残響量は[マイク残響]つまみで調整します。[残響]つまみのマーク位置には影響されません。

**ルーム:** 会議室や教室といった、小さな部屋のような残響です。

**ホール:** コンサート・ホールのような、余韻の長い残響です。

**ディレイ:** やまびこのように、音が遅れて何度か鳴る効果です。

### 効果つまみ

効果の選択と、マーク位置で速さの調整を行います。

**コーラス:** 音に豊かな広がりを与える効果です。

**フェイザー:** 音に爽やかな変調感を加える効果です。

**トレモロ:** 周期的に音に強弱をつける効果です。

# 故障とお思いになる前に

## 電源ボタンを押し続けても電源が入らない

- ◆ 電池が入っていますか？またはACアダプターが正しく接続されていますか？
- ◆ ACアダプターがコンセントに接続されていますか？
- ◆ ACアダプターが損傷していませんか？

## アンプから音が出ない

- ◆ 楽器の音量が最小になっていませんか？
- ◆ 接続コードが正しく接続されていますか？
- ◆ 接続コードが断線していませんか？
- ◆ トップ・パネルの[マイク音量]、[GAIN]、[主音量]つまみが小さい値になっていませんか？
- ◆ [ヘッドホン]ジャックにヘッドホンやコードを接続していませんか？その場合は接続を外してください。

## アンプの音量が十分に出ない

- ◆ 楽器の音量が最小になっていませんか？
- ◆ トップ・パネルの[マイク音量]、[GAIN]、[主音量]つまみが小さい値になっていませんか？
- ◆ 電池が消耗していませんか？

## ヘッドホンから音が出ない

- ◆ トップ・パネルの[主音量]つまみが小さい値になっていませんか？
- ◆ ヘッドホン端子への接続を外し、音がアンプから出ているか確認してください。  
アンプから音が出ない場合は、前述の「アンプから音が出ない」を参照してください。

アンプから音が出ている場合は、ヘッドホン、接続ケーブルが故障／断線していないか確認してください。

## 残響・効果がかからない

- ◆ チューナー機能が「入」になっていませんか？チューナー機能が「入」になっている場合、残響・効果がバイパスされます。[チューナー]ボタンを押してバイパスを解除してください。
- ◆ [残響]、[効果]つまみが「切」または小さい値になっていませんか？
- ◆ 外部マイクに残響がかからない場合、[マイク残響]つまみが小さい値になっていませんか？[マイク残響]つまみを調節してください。

## ミュージック入力に接続した機器の音が出ない

- ◆ 外部機器が正しく接続されていますか？  
外部機器の音量調節が小さい値になっていませんか？

## 外部マイクに接続したマイクロホンの音が出ない

- ◆ マイクロホンが正しく接続されていますか？
- ◆ マイクロホンのスイッチが“OFF”になっていませんか？
- ◆ [マイク音量]つまみが小さい値になっていませんか？

# 仕様

アンプ・モデル数:	11
残響・効果・タイプ数:	6
チューナー測定範囲:	G1~G6(49~1568Hz) 基準ピッチ A = 440Hz
入出力端子:	楽器入力(モノラル標準ジャック)、 ハーモニカ/外部マイク入力(モノラル標準ジャック)、 ミュージック入力(ステレオミニジャック)、 ヘッドホン(ステレオミニジャック)
パワー・アンプ出力:	最大約3W RMS@4Ω
スピーカー:	12.7cm 4Ω
信号処理:	A/D変換 24bit D/A変換 24bit
電源:	単三型アルカリ乾電池6本 またはACアダプター
電池寿命:	12時間
消費電流:	150mA
外形寸法:	262(W)×174(H)×223(H) mm
質量:	3kg(電池含まず)
付属品:	ACアダプター(KA251V)、 キャリング・ストラップ

※仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

# 保証規定

1. 説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買いあげ後1年間、無料で修理致します。
2. 保証期間内に万一本製品が故障した場合には、お買いあげの販売店または鈴木楽器販売株式会社・各営業所にご依頼の上、修理に関して本証をご提示ください。
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
  - イ. お買いあげ後の輸送、移動時のお取り扱いが適当でない場合に生じた故障、損傷の場合。
  - ロ. 誤用、乱用及び取り扱い不注意による故障、損傷の場合。
  - ハ. 火災、地震、水害及び盗難などの災害による故障。

ニ. 離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

ホ. 不当な修理や改造及び異常電圧に起因する故障。

ヘ. 消耗品の交換。

ト. 本証の提示が無い場合及び必要事項(お買いあげ日、販売店名等)の記入が無い場合。

4. 本証は日本国内にのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

※ この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## ● ご販売店さまへ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めてお買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を必ずご記入ください。

## ● 個人情報の取り扱いについて

ご記入頂きました個人情報は配送・サービスに利用させていただきます。お客様から頂いた個人情報は(株)鈴木楽器製作所(以下当社)の個人情報ポリシーに則り厳重に管理し、当社ならびに当社関連会社以外の第三者には一切提供致しません。

## 株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家2-25-12

TEL053-461-2325 FAX053-463-5858

最新の情報に関しましては、弊社ホームページをご覧ください。

